

紀勢道整備に伴う地域活性化検討委員会

幹事会 観光振興分科会通信

平成19年9月発行 第1号

紀勢道整備に伴う地域活性化検討委員会の紹介と組織体系

紀勢道整備に伴う地域活性化検討委員会

(委員長 渡邊悌爾三重大学特命学長補佐)

<設置目的>

●本検討委員会は、三重県南部の地域（奥伊勢・東紀州地域）の豊かな地域資源を活かした観光振興や地域づくりについて、広域的な視点から地域が一致団結して取り組むことにより地域活性化施策を検討するため平成18年11月に設立されました。

紀勢道整備に伴う
地域活性化検討委員会

紀勢道整備に伴う
地域活性化検討委員会幹事会

統一イメージ戦略分科会

観光振興分科会

まちづくり分科会

産業振興分科会

第1回『観光振興分科会』を開催しました。

はじめに

平成19年8月24日（金）の午後7時30分より、三重県尾鷲総合庁舎5階大会議室にて、「第1回 観光振興分科会」を開催しました。

観光振興分科会は、幹事会メンバーよりグループ分けされた7名のメンバーで、「**地域資源の新たな切り口を考える**」を議論の方向性とし、分科会を進めていきます。

第1回目分科会では、事務局より分科会での作業内容等を説明し、地域の課題や方向

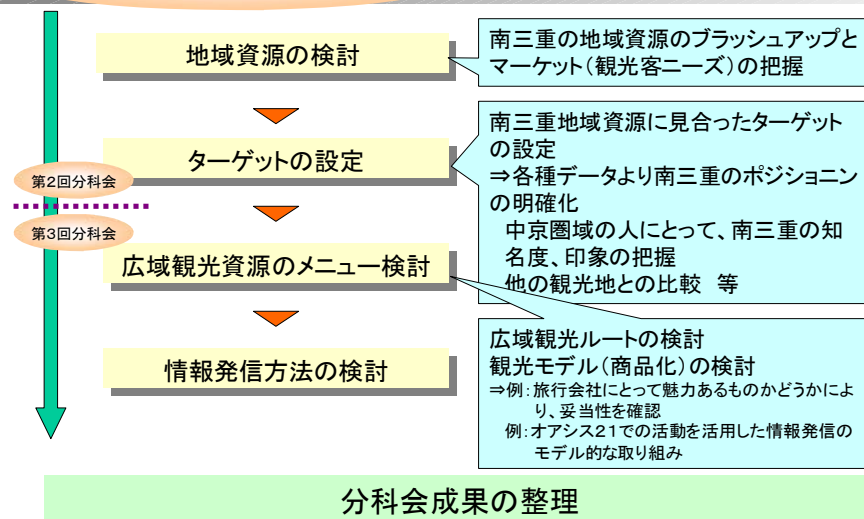


▲観光振興分科会の開催風景

『観光振興分科会』の活動内容の紹介

分科会の方向性 地域資源の新たな切り口を考える！

分科会の作業概要の紹介



分科会の作業成果の紹介

地域を最もよく知るメンバーが考えた分科会成果をつくっていきます！

観光モデル(利用者ニーズに対応した広域観光メニュー)

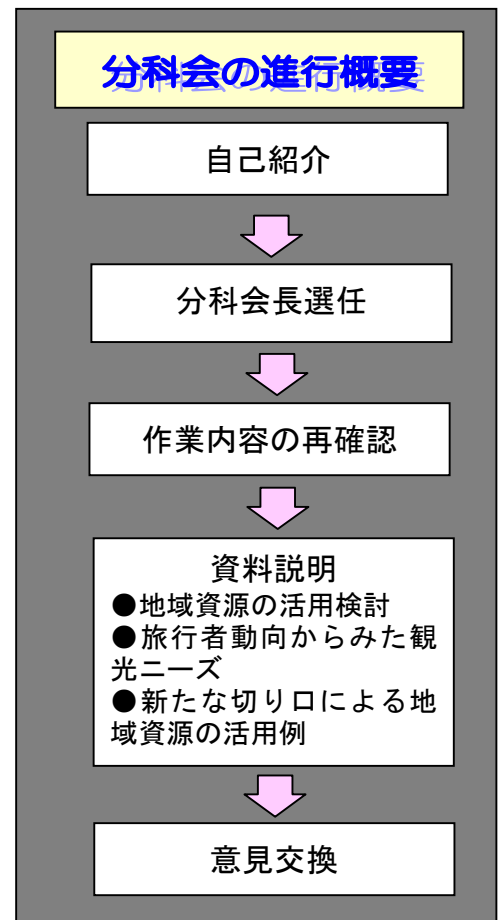
広域観光ルート(周遊型ルート、目的別ルート)

活用戦略(情報発信方法の検討)

■意見交換の内容

■分科会の意見交換では、活発な議論がなされました。主な討議概要をご紹介します！

- 地域の現状として団体客を受け入れることができる宿泊施設が少ない。
- イベント等で指導者が参加者のあらゆる質問に回答できる魅力を提供している。
- 様々な観光資源がある中で「食」をテーマとした資源を検討することが良いと考える。また、単に食材のみを資源化するだけでなく、「食材の食べ方」を紹介することもおもしろいとする。
- 地域の宿泊施設の現状を踏まえると団体客より少人数の旅行者をターゲットにした方がよいと考える。
- うまいものは、リピーターの誘引効果が高いと考えられる。例えば「珍味ツアー」の企画による一風変わった食材の提供もよいと考える。また、その食材の多様な効果（健康、美容）をセットで紹介するとよい。
- 地域の拠点施設を明確にし、その施設を活用した展開を検討すべきである。
- 山の観光（丸山千枚田等）にも力を入れていきたい。
- 観光資源を商品化してくためには、自治体と民間事業者との役割分担を明確にすることが必要である。



今後の予定

次回の分科会は、平成19年10月18日（木）に開催いたします。

<主な内容>

- 地域資源の検討
- ターゲットの設定

意見を募集します！

地域資源の新たな切り口の考え方等について観光振興分科会以外の幹事様からも積極的な意見を募集したいと思います。

右記問合せ先まで
ご連絡下さい

● 問い合わせ・連絡先

紀勢道整備に伴う地域活性化検討委員会

<事務局>

東紀州観光まちづくり公社

<問合せ先>

□紀北事務所（担当：松田）

電話：0597-23-3784

FAX：0597-23-3785

E-mail：matsuk15@pref.mie.jp

□紀南事務所（担当：大崎）

電話：0597-89-6172

FAX：0597-89-6184

E-mail：oosaki@kassay.org